

意見等	当日の回答／⇒後日の対応
電柱を地下にして欲しい。電線があるのが耐えられない。	役場前の電柱を抜いて道路に面していない箇所へ電線を通すという方法を検討している。その後徐々に町内でも実施していけたらと考えている。
施設の有効活用について、調理室を使用したいので保健センターを利用させてほしいと要望したが、保健センターの利用目的と違うと言って断られた経緯がある。このようなことで頻度が少ないのではないか。町民は使える公共施設がどのような形で利用できるかを知っているか。町民に分かりやすく施設利用方法等についてお知らせしてほしい。	保健センターは、衛生管理がきびしい。また、役場職員ではなく、シルバー事業団が対応しているため、対応が違ったのかもしれない。持ち帰って確認する。 ⇒現在、保健センターの調理室は、町事業用で原則貸出を想定していない旨を説明。
他自治体では、多文化共生のための施設がある。町にはそういうのがない。	新たな目的の施設をつくるのは難しい。三浦半島地域一体で連携した利用を図っていきたい。
施設予約をホームページ見られるようになっているか。みんなが使えるようにしてもらいたい。	南郷公園のテニスコートは施設予約をホームページからできるようにしているが、町内会館などはないので今後実施していきたい。役場のホームページも改善していきたい。
葉山の財政が大変ということだが、役場職員だけではなくボランティアにも協力してもらって町づくりをしていくのはどうか。	行政だけでは人手が足りないので、葉山のために頑張ってくれるような人を集めたい。時代の変化があるが、町内会、地域の皆さんにささえていただいて、引き続きボランティアについて考えていきたい。
事実婚について、町が条例などをつくり事実婚を行政が仲立ちをするのはどうか。	パートナーシップの話は逗子、鎌倉、葉山、横須賀は協定を結んでいる。婚姻関係がなくても証明書を発行できるので、病院の付きそいなどでもできる。日本政府はそこまで進んでいないが、引き続き応援していきたい。
葉山大道、桜山7丁目などの渋滞を解消できないか。	自転車などの活用を提案したいが、海岸線は道が狭いので一律の対応を求めることは難しいと考えている。夏季のバスの混雑の問題などもあり、交通問題についてはもう少し時間をいただきたい。
三家橋のマンション、下山口のマンションの建設計画について、葉山町まちづくり条例の理念に沿った開発をしてもらいたい。事業者に対し町には厳しく意見をしてほしい。周辺地域住民の意見等をよくきいてもらいたい。	建築基準法、都市計画法の法律に従って建築計画され県知事に許可される。また、財産権は個人の持ち主に尊重され、持ち主に優先権がある。個人所有の財産に対して、町として提案できることに限りはあるが、町民と町と一体となって、業者に対して要望できることを行っていきたい。
子供の教育について、葉山町コミュニティスクールが長柄地区から2年前に始まり、一色と葉中も来年予定している。子供の学習支援をしたい、葉山の子供のための人材バンクを立ち上げた。子供の学びに協力してもらいたい。コミュニティスクールは教育委員会となっているが、自治会、町内会など地域の住民の方々にも協力してもらいたい、どうすればよいか。	(課長) 教育委員会より長柄地区からコミュニティスクールが始まっている話は聞いており、このコミュニティスクールは、地域の皆様と連携していきたいということで、町内会の集まりの時に紹介させていただいたりとか、それとは別に、小中一貫教育についてどうするかなどの話も上がっている。コミュニティスクールは、教育委員会の窓口ではあるけれども、町内会を担当している政策課協働推進係、教育総務課と連携して、話ができるようにしていきたい。町内会連合会の事務局は政策課の方でしているので、何かあれば相談して頂きたい。
マンション建設について、葉山町で景観の一番いいところに京急のマンションをたてられてしまった。町長の責任だ。町長の開発許可に対する考え方は間違っていると思う。景観は町の宝。町長は法律を間違っ解釈している。	京急のマンションとはいろいろ話し合いをして、こちらから要求もしたが、外観に関しては申し訳ない。マンション建設について引き続き対応していきたい
逗葉新道はいつになったら無料化になるのか。	三浦半島広域幹線道路整備促進規制同盟の会議において、組長、NEXCO東日本、神奈川県道路公社と話し合いがもたれて、無料化とトンネルの話をした。トンネルはこれから調査予定。開通するのは10年ちょっとかかる予定。無料化は、トンネルが通ったのちのいすとのことであった。
ごみについて、分別がこれでよいのか、再検討してほしい。ごみステーションを綺麗にしているところときれいにしていない地域がある。行政による啓蒙活動が不十分だと思う。	衛生上、問題のあるステーションについては町に連絡をいれてほしい。資源ステーションに立番した際は、皆さんきちんと出して頂いている。
どれみ幼稚園から御用邸に抜ける下山橋日影線の出口。道路沿いで、一部町の私有地のはずだが、自分の土地のようにして杭をたててしまい歩行者が通れない。役場に聞いたところ、町からの回答は、家が建っている場合、改築したときに話し合うからと言われた。町の土地を私有地で使っているのに、なぜ、改築や家を壊してから話し合うのか疑問。	占有されているのを承知しており、建物を解体した時にセットバックしてもらおうよう指導している。
水源池に抜ける町道の拡張がなかなかされない。ここの道は、何件も建て替えが行われているにもかかわらず、1か所だけセットバックされただけで、あとはセットバックされていない。	
青地のところ三角地を不動産業者の土地に勝手にされている。	⇒(道路河川) 該当区域は境界画定の測量で確定しているので従前から不動産事業者の土地であるところ。この件は以前から相談をうけており、改めて説明する。
狭い道路に枝が出ていて、通学の時に傘をさして出っ張ってしまう。行政から地主に指導できないか。特に白石橋ぬける道では壁から木がおいしげっている。水源池に行く、この先に稲荷様があるところも覆いかぶさっていて隣のところまで広がっている。風が吹くと倒木も心配。	
封筒の中のつつじカードが台紙に張ってあって見つけづらい。次回改善をお願いしたい。	
葉山もりのわ幼稚園 幼稚園無償化からもれてしまっている。子ども育成課に言っているか、もりのわは対象外、安全面がない、園舎がないからと言われて、無償化になっていない。葉山町ならではの方法で助成して頂く方法はないか。	⇒ いわゆる「幼稚園類似施設」へ子どもを通わせている保護者への補助制度については、町で要綱を制定し、その中で対象施設の基準を規定することになる。園舎を持たない類似施設にあっても対象施設の基準(職員の有資格者の人数、職員の配置基準、開所時間、非常時の対応、健康管理・安全確保など)をクリアする必要がある、すでに取り組みを始めている他県の先進市の状況も研究し、検討を行なう。(こども育成課)